

米沢興譲館同窓会会報

第46号

発行／平成29年8月1日
米沢興譲館同窓会
会報編集委員会
当会報の題字は、第19号から奥山徹石氏（昭和28年卒）の揮毫によるものです。



写真は創立130年記念式典当日の一コマです。同窓生はじめ、多くの方の協力により、後輩諸君の感性を育む場として建立された講堂に相応しく、参加された学生はとても立派であった。今後とも同窓会は、母なる母校、興譲館、の伝統護持の潤滑油の役割を果たしてゆきたい。

「NEXT」～深化する友情 進化する伝統～



平成二十九年度 同窓会総会・懇親会
実行委員長 堤 郁雄
(昭和五十七年卒)

創立一三一年を迎えます今年は、九月十六日（土）に平成二十九年度米沢興譲館同窓会総会・大懇親会を開催いたします。今年度は昭和五十七年卒を筆頭に六十一年、平成三年、九年、十四年、十九年卒が幹事学年として実行委員を務めさせていただきます。

今年のテーマ「NEXT」～深化する友情 進化する伝統～は、昨年の百三十周年という節目を超えて、今までの友情と伝統に、さらに磨きをかけ、次の世代・時代に進んでいこうという意味です。

これからもずっと築き続けていく興譲館の歴史を、また新たな気持ちになって、次のステップに向かって歩き出そうという、熱い想いを込めて、一番若い幹事学年の平成十九年卒のメンバーが考案してくれました。創立一三一年、一七七六年の学館再興から数えれば、二四一年。時代・世代がかわっても、私たちは「興譲館」の旗の下に集う同志であります。「連綿尽きぬ」伝統を受け継ぎ次世代に受け渡すために、持続可能な社会を築き、「世のために尽くさんこれぞ」と謳われていくように、私たちが、世の中に尽くすこと、これこそが今、大事なことだと実感しています。

旧交を温め、懇親を深め、「NEXT」次の世代を支えるためにも是非、同窓会総会・大懇親会に多数、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

退任に当って



米沢興譲館同窓会
会長 大友 恒 則

会長の拝命を受けて六年、この間同窓会役員の皆様、各地区支部役員、学校長、教職員の皆様、更に多くの同窓生の皆様に支えられ任期を終えることができました。心から感謝と御礼申し上げます。

昨年九月十九日母校創立百三十年記念式典を、学生を含むオール興譲館で挙行できましたことは、印象に残る大きな行事でした。この行事にも多くの皆様から物心両面に亘ってご協力頂きましたことにも厚く御礼申し上げます。

この周年を迎えるに当たって、岸校長を中心とした教

職員と共に、未来の興譲館教育の方向性が議論され、改めて興譲館教育三理念を確認されたことは意義深く嬉しく思いました。大きく深い伝統を継ぎながら、未来志向の教育の展開は母校のDNAと感じます。

私共同窓会会員の使命は、相互の親睦は勿論であります。学校教育がその使命を存分に発揮できるよう支援していくことにあると思います。

新会長のもと、一層の会員の理解と協力を心から願ひ、退任に当たってのあいさつとさせて頂きます。

米沢興譲館同窓会

平成二十九年 度

総会・大懇親会ご案内

- 一、日時 平成二十九年九月十六日(土)
- 一、会場 グランドホクヨウ(市内)
- 一、日程 ①総会 午後四時～
- ②大懇親会 午後六時～

米沢興譲館同窓会会長

大友 恒 則

平成二十九年 度同窓会・懇親会実行委員長

堤 郁 雄

(昭和五十七年)

米沢興譲館高等学校

創立記念式典・記念講演

- 一、日時 平成二十九年九月十九日(火)
- 一、会場 興譲館高校 記念講堂
- 一、日程 ①式典 午前九時二十五分～
- ②保護者・同窓生入場 午前九時五十五分～
- ③記念講演 午前十時二十分～
- 十一時五十分

講師

SCSミュージカル研究所代表
純クリエーション代表取締役

廣 瀬 純 氏

(昭和五十五年三月卒)

公益財団法人
自願奨学財団からの
お礼とお願い

当財団は、本校の大先輩、我妻榮先生が文化勲章受章を記念して設立されたもので、爾来、その趣旨に御賛同いただいた方々からのご支援も合わせ、経済的に恵まれない本校生徒に対する奨学金給与等の支援事業を継続してまいりました。

平成二十四年度に数多くの皆様より多大な浄財を賜った結果、原資不足を補うことができ昨年に引き続き今年度も目標としていた給与が可能となりました。

心より御礼申し上げます。しかしながら、奨学金を希望する生徒は年々増えているのが実情です。

このような事情もあり、現在も奨学金事業の継続的且つ発展的な運営のため、ご寄付の受付を継続させていただいていところであります。

同窓生の皆様におかれましては、趣旨に御賛同いただけます場合には、本校事務室までご連絡をお願い申し上げます。

(代表理事 横戸 隆)



校長 横戸 隆

ごあいさつ

この4月、岸順一校長の後任として米沢工業高校より着任しました横戸隆です。輝かしい歴史と伝統を誇る米沢興譲館高校に奉職できることの喜びとその責任の重さを感じています。微力ではありますが精一杯努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

昨年に開催された本校創立130周年記念式典に於きましては、県や教育委員会、関係者の皆様と共に、多くの同窓生の皆様の母校愛や後輩に対する熱い思いを受け、盛大に終了することができました。改めて心より感謝を申し上げます。

さて、今年度は、節目となった昨年度、全職員が本校の歴史を振り返り、改めて本校の役割・使命を再確認しテーマに掲げた「興譲の精神を受け継ぎ、新たな価値創造を目指して」の創造と挑戦を旗印にスタートしました。

現在本校では、「自他の生命を尊重する精神」・「己を磨き、誠を尽くす精神」・「世のために尽くす精神」の3つを教育精神として、全職員・全生徒が教育目標の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでいます。この3つの精神は、「興譲の精神とは何ぞや?」という問いに、創立100周年を

機に様々検討され、最終的には、校歌にも謳われている「人みな命をあがめわが力わが誠 世のために尽くさん」に集約されるのではないかということからまとめられたとお聞きしております。まさに時代がいかに変わろうと不易な精神と言えます。これから、

この精神を根幹に据えた人間教育を礎に、高い志を持ち新たな時代に挑戦・創造し、世のため人のために与えることができる心豊かな進み取り組んで参ります。生徒は「文武両道」日々の授業を第一に、部活動や自治会活動に一生懸命に取

り組んでいます。今春卒業の進路状況では、195名卒業中、国公立大学に116名が進学、難関国・私立大学をはじめ高い進学実績を上げました。特に、医学部医学科に現役で6名が合格、県内トップの合格者数を出したことは特筆すべきことです。

トヨタ賞を受賞、さらに全国のSSH指定校の代表生徒発表会において2つの部門で賞を受賞する等、様々な成果と今後の取組みが評価され、継続実践校として採択されました。

部活動では、昨年も多くのが県大会に出場、フェンシング、卓球、ホッケー部がインターハイや国体、全国選抜大会に出場。今年は、本県を幹事県として宮城・福島県で南東北インターハイが開催され、本校からはフェンシング女子団体と4名が男女個人戦に、陸上部女子100mHに出場、全国の晴れの舞台での活躍が期待されます。

また、第2期の文部科学省スーパーサイエンスハイスクールでは、「科学の甲子園全国大会」実技競技・生物部門で最高得点を獲得し、今後とも、温故知新・不易流行を旨に「興譲の精神」を受け継ぎ、生徒が生き生きと活動し地域の期待に応えられる興譲館高校づくりに、教職員一丸となって努力することをお誓い申し上げます。ご挨拶といたします。

川西支部について

支部長 金子 勤

(昭和三十四年卒)

川西支部は、平成十一年一月二十四日に総会が開催された。その後、当時の遠藤忠志会長のご逝去などもあり、支部活動が途絶えておりました。

昨年母校の創立百三十周年記念の年にあたり、川西支部の復活を求める声が出てきたので、旧事務局が動き、昨年八月二十八日、浴センター「まどか」において二十五名の出席者を得て支部総会を開催し、新役員体制を7Pのように決定しました。支部経費については、しばらくの間は会費は徴収せず、総会経費や以前からの残金で賄うこととしました。

これから事務局とも相談し、少なくとも年一回は若い同窓生にも声がけして懇親の場を開きたいと思っています。

米沢興譲館同窓会に感謝

佐藤 大介
(平成八年卒業)

卒業してからは普段から連絡を取り合っていた友人とは顔を合わせる機会があったものの、学年としての同窓会らしい集いはしてきませんでした。二百人を超える同級生に案内を出し、集まってもらうのはどうしても億劫だったのです。

そんな中、平成二十三年に幹事学年を迎えました。といっても会議に出席しているのは私一人。米沢に帰ってきたばかりの私は地元にいる同窓生を一人も知りませんでした。「良い機会だから同窓生を探して集めて下さい。頑張ってください」と先輩に励まされ、取りあえず誰かいないかなと市役所に行ってみることに。フロアをうろうろしていると、見覚えのある顔が！級友に久しぶりに会った嬉しさ、同窓会を一緒にしてくれる仲間が増えたことの

安心感は今も忘れられません。そこから芋づる式に数人と出会うことが出来ました。

「せっかくだから、全員に案内を出して学年の同窓会をしてみっぺ」誰かが言ったその一言で、学年の同窓会プロジェクトも同時進行。名簿すら手元になかった。

たところからのスタートでしたが、そこは興譲館で培った結束力を発揮し、学年同窓会当日は五十名ほどの旧友が集まってくれました。出会って一瞬で学生時代に戻り、十五年ぶりに会ったにもかかわらず大盛り上がり。近況を伝え合い、学生時代の思い出話に花を

咲かせながらお酒をいただき、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

そんなきっかけを与えてくれたのも、この米沢興譲館同窓会のお陰です。これから先も、同窓会という機会から新しい友情を育み、人生を豊かにしていければ最高です。

◎同窓会事務局からのお願い

◇同窓会費納入に関して

皆さんの年会費で様々な同窓会活動できることに感謝しております。年会費納入の方法は平成9年より次のようになりました。

- * 会費の納入は学年一括でお願いします。
- * 卒業後10年間は会費の納入を免除する。
- * 卒業後11年から50年までの40年間は年額50,000円とする。
- * 卒業後51年から60年までの10年間は年額30,000円とする。
- * 卒業後61年以降の年次については基準額を定めない。

○上記の納入額区分では今年は下記の通りです。

卒業年次	平成21年～平成30年まで	・ ・	免除
	昭和44年～平成20年まで	・ ・	50,000円
	昭和34年～昭和43年まで	・ ・	30,000円
	昭和33年以前	・ ・	定めず

(お願い) 年会費納入につきましては学年によってばらつきがあります。なるべく学年理事の方を中心に、学年ごとに結束して頂きましてご協力いただけますようお願いいたします。

◇興譲館に関する出版物のご案内

- ・ 興譲館同窓会 会員名簿 (H28.11.20発行)
- ・ 米沢興譲館 部活のあゆみ (H27.11.20発行)
- ・ 創立百三十周年記念誌 (H28.12.31発行)

◇江部孝氏(ニューヨーク支部)より書簡

「創立百三十年記念誌」に寄稿して頂いた江部氏より訂正箇所を指摘を受けました。大変申し訳ありません。この冊子の記事を読んでおられない方は、江部氏が昨年の同窓会報「支部だより」に寄せてくださった記事をお読み頂きたい。訂正はスペースの関係で格調高い最後の英文の訂正のみにてお許しいただきたい。

Do your best to Challenge for the Future!
It's Right Now! We can change the World!
I'll appreciate for Everything Very much.
I'll finish my colum Right Here.
Finally I'll send my "Yell" to all young Generation!!
T.EBE From New York (1959 Grad)

創立130周年記念事業を終えて

— 御礼と報告 —

創立130周年記念事業委員会副委員長 早 川 正 信

昨年九月、標記事業の遂行にあたり、同窓生の皆様から物心ともに格別のご支援をいただき深くお礼申し上げます。ごく概略的ですが、以下に諸事業の報告を致します。

①「記念誌の発行」主たる事業と位置付けられるこの冊子の刊行については、ほぼ二年前から構想・調査等が行われ、母校の「伝統」や同窓生の功績の顕彰を中心に据え、従来のこうした記念誌の集大成という内容で編集され、年度末に完成をみました。

②「同窓会会員名簿（改訂）」昨年は五年に一度行われる改訂の年にあたっていたこともあり、事業の一つに入れることによって内容充実の機会となりました。昨今の個人情報悪用の悪用などに十分配慮し、(株)サラトの担当者と共に連携し、十一月の末に完成の運びとなりました。多くの方々、法人からの協賛にお礼を申し上げます。

③「記念式典」九月十九日は内外から三十余名の来賓のご臨席を仰ぎ、母校講堂にて挙行され、記念テーマ「興譲の精神を受け継ぎ、新たな価値創造を目指して」のもと、厳かにこれを終了しました。とくにこの式典を寿ぐ在校生による「祝典歌」が披露されました。

④「記念講演会」引き続き、母校昭和五十四年卒業の星岳雄先生から講演をいただきました。先生は現在米国スタンフォード大学大学院で経済、経営学の教授として活躍中の方であり、グローバルな視点から「競争」と「協力」のキー・ワードを示されました。

⑤「記念祝賀会」同じ日、夕刻六時から会場を卒業の星岳雄先生から講演をいただきました。先生は現在米国スタンフォード大学大学院で経済、経営学の教授として活躍中の方であり、グローバルな視点から「競争」と「協力」のキー・ワードを示されました。

グラントホクヨウに移し、関係者百二十余名の参加のもと開催されました。主催者の同窓会会長の挨拶のあと乾杯が行われ、和気あいあいの中に、母校百三十年の来し方を語り、未来の姿を語り合うなど、和やかな、慶びに満ちた祝賀の宴となりました。

米沢興譲館創立130周年記念事業会計

(会計期間 平成27年9月19日～平成29年3月24日)
収入の部

収支報告書

平成29年3月24日

項 目	予算額	収入額	増 減	備 考
賛 助 金	2,000,000	3,810,000	1,810,000	
				各学年次 33 / 1,200,000
				個人 225 / 1,445,000
				法人 50 / 1,125,000
				支部 3 / 40,000
同 窓 会 補 助 金	500,000	500,000	0	
寄 付 金		600,000	600,000	星 岳雄教授
寄 付 金		100,000	100,000	山上満里子様 (山上元校長夫人)
祝 賀 会 費		575,000	575,000	115名 × 5,000
振替口座開設金		6,000	6,000	同窓会本部より
計	2,500,000	5,591,000	3,091,000	

支出の部

項 目	予算額	支出額	増 減	備 考
事 業 費	2,100,000	4,255,774	2,155,774	
記 念 誌 費	1,000,000	1,198,800	198,800	1,500部
講 師 謝 礼	800,000	800,000	0	
祝 賀 会 場 費	100,000	0	- 100,000	参加者 115名 @ 7,559
祝 賀 会 費		869,288	869,288	料理、飲料、看板、会場費
学校環境整備費		300,000	300,000	史料室に除湿機設置
自 頼 財 団 へ		300,000	300,000	星教授寄付
学校運営活動費		300,000	300,000	星教授寄付
学校運営活動費		100,000	100,000	山上満里子様寄付
記念品・式典運営費		387,686	387,686	設置費・スリッパ代・記念品代
P R 広 報 費	200,000	0	- 200,000	
運 営 費	400,000	950,735	550,735	
会 議 費	100,000	260,226	160,226	会議・報告・反省会
案 内 費	100,000	0	- 100,000	(事務費に包括)
通 信 費	100,000	248,917	148,917	ハガキ・切手代・郵送代
事 務 費	100,000	435,592	335,592	趣意書・パンフレット・タックシール・封筒ゴム印・振込手数料
事 務 費		6,000	6,000	郵貯開設金
小 計	2,500,000	5,206,509	2,706,509	
差 引 残		384,491	384,491	同窓会会計へ戻し
計	2,500,000	5,591,000	3,091,000	

会計監査

平成29年3月24日

監査の結果 上記の通り相違ありません。

会計監査

野 口 義 人 印
土 田 一 成 印
江 部 寛 印

◎平成27年度 同窓会会計 決算書 (会計年度 平成27年9月1日～平成28年度8月31日)

収入の部 (単位:円)

項 目	予算額	収入額	増減(△)	備 考
繰 越 金	872,079	872,079	0	前年度繰越金
入 会 金	1,414,000	1,379,000	△ 35,000	7,000円×197名 (過年度転校生1名含む)
年 会 費	2,300,000	1,550,000	△ 750,000	
過年度会費	0	550,000	550,000	昭和46・56年卒
雑 収 入	1,921	187	△ 1,734	預金利子
計	4,588,000	4,351,266	△ 236,734	

決算額

収入額 4,351,266円 - 支出額 3,369,263円

= 残額 982,003円 (次年度へ繰越)

○資金の残高

= 米沢信用金庫本店営業部 普通預金 982,003円

○財政安定積立金残高

= 同上 同上 500,357円

○前受会費残高

= 同上 同上 2,690,541円

支出の部 (単位:円)

項 目	予算額	支出額	残額	備 考
運 営 費	1,220,000	1,147,461	72,539	
会 議 費	90,000	41,757	48,243	理事会等
通信連絡費	20,000	34,158	△ 14,158	郵便切手等
需 用 費	120,000	86,425	33,575	用紙・封筒等
人 件 費	990,000	985,121	4,879	人件費会計へ繰出し
事 業 費	1,998,608	1,761,296	237,312	
一般事業費	1,100,000	1,032,024	67,976	各支部総会(旅費・お祝い)・総会補助金・HP運営費・会報送料補助等
母校活動補助金	300,000	173,000	127,000	高鍋高校交流事業(来校)
卒業記念費	283,608	241,272	42,336	記念品代(196名分)
表 彰 費	0	0	0	
会 報 費	315,000	315,000	0	会報 第45号 6,000部
130周年記念事業補助	500,000	460,506	39,494	
予 備 費	869,392	0	869,392	
予 備 費	869,392	0	869,392	
計	4,588,000	3,369,263	1,218,737	

◎平成28年度 事業計画

①母校振興発展に必要な事業

②会員の親睦に関する事項

③会報の発刊

④同窓会名簿発行について

⑤創立 130 周年に関する事項

⑥その他、目的達成に必要な事項

◎平成28年度 同窓会会計 予算書 (会計年度 平成28年9月1日～平成29年度8月31日)

収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
繰 越 金	982,003	872,079	109,924	前年度繰越金
入 会 金	1,372,000	1,414,000	△ 42,000	7,000円×196名
年 会 費	2,300,000	2,300,000	0	昭43年～平19年まで5万円(40学年)昭33年～昭42年まで3万円(10学年)
雑 収 入	997	1,921	△ 924	預金利子
計	4,655,000	4,588,000	67,000	

前年度からの繰越額

○財政安定積立金

= 米沢信用金庫本店営業部 普通預金 500,357円

○前受会費

= 同上 同上 2,690,541円

支出の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
運 営 費	1,242,000	1,220,000	22,000	
会 議 費	60,000	90,000	△ 30,000	理事会等の会議費
通信連絡費	40,000	20,000	20,000	郵便切手等
需 用 費	100,000	120,000	△ 20,000	慶弔・事務用品
人 件 費	1,042,000	990,000	52,000	人件費等992,000+50,000(9月手当)
事 業 費	2,057,388	1,998,608	58,780	
一般事業費	1,100,000	1,100,000	0	各支部総会(旅費・お祝い)・総会補助金・HP運営費・会報送料補助等
母校活動補助金	300,000	300,000	0	高鍋高校交流事業(訪問)等
卒業記念費	276,588	283,608	△ 7,020	記念品代(197名分・過年度転校生1名含む)
表 彰 費	30,800	0	30,800	永年勤続者(2名)
会 報 費	350,000	315,000	35,000	印刷費
130周年記念事業補助	0	500,000	△ 500,000	
予 備 費	1,355,612	869,392	486,220	
予 備 費	1,355,612	869,392	486,220	次期繰越金が多額になる場合には、財政安定積立金に振り替えることがある
計	4,655,000	4,588,000	67,000	

米沢興讓館同窓会支部役員

◎本部

会 長
副 会 長
監 事
常務理事
副常務理事
常任理事

〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101
米沢興讓館高校内 ☎0238-38-4741
大友 恒則
早川 正信 小林 擴二
野口 義人 江部 寛 土田 一成
遠藤 岩根
磯部 道昭
平山孫兵衛 小嶋彌左衛門 佐野 隆一
鈴木 基 加藤 英樹 藤倉万里子
益子 光子 佐藤 詠一 安部 徳朗
佐藤 美洋

◇米沢支部

支 部 長

早川 正信
〒992-0054 山形県米沢市城西3-2-36
☎0238-22-6780

副支部長
監 事
幹 事
事務局長

宗川 真希
安達 治雄 雨田 孝
相田 修一 船山 隆
栗林 雄二

◇東京支部

支 部 長

宮坂 孝夫
〒176-0021 東京都練馬区貫井2-16-13 (南)アルックス
☎03-3990-6289
横山 彰人

幹 事 長

◇関西支部

支 部 長

吉田 真
〒606-8075 京都市左京区修学院坪江町2-5
☎075-721-1743

副支部長
幹 事 長
事務局長

佐藤 吉憲
中川 勉
福士 明博

◇宮城支部

支 部 長

田林 暁一
〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平2-17-28
☎022-279-8951

副支部長
事務局長

塚原 保夫 御供 政敏 森下 和夫
中澤 正美

◇山形支部

支 部 長

堤 孝雄
〒990-2494 山形県山形市末広町9-8
☎023-624-0466

副支部長
幹 事 長
幹 事
監 事

後藤 寛 竹田 篤永
生亀 寿子
高橋 宏一 横井 洋子 大内 勇
加藤 章 浅間 幸助
岩沼 甫 金子 昌宏

◇高畠支部

支 部 長
副支部長
幹 事 長
事務局長

鈴木 征治
佐藤 正洋 安部 和彦
武田 正隆
八巻 裕一
〒992-0344 山形県東置賜郡高畠町大字深沼12-5
☎0238-52-1777

◇川西支部

支 部 長

金子 勤
〒999-0121 山形県東置賜郡川西町上小松2810-3
☎0238-42-4522

副支部長
幹 事 長
監 事

佐野 元
後藤 哲雄 ☎0238-42-5443
佐藤富士雄 金子 正美

◇赤湯支部

支 部 長

佐藤 有弘
〒999-2231 山形県南陽市二色根373
☎0238-43-6660

副支部長
事務局長

石岡 忠一 須藤 清市
三ヶ山岩男

◇宮内支部

支 部 長

山水 克美
〒992-0472 山形県南陽市宮内3172
☎0238-47-7055

副支部長
会計幹事

長谷川 剛 高岡 亮一
安部 史生

◇小国支部

支 部 長

高橋 清人
〒999-1353 山形県西置賜郡小国町大字兵庫館2-3-14
☎0238-62-2714

副支部長
事務局長

高野 健人 小林新太郎
伊藤 通芳

◇長井・西置賜支部

支 部 長

齋藤 道郎
〒993-0035 山形県長井市時庭2306
サンリット化成株
☎0238-88-9632

副支部長
幹 事 長
事務局長

芳賀 康雄 後藤 博信
横山 英二
坂野 祐一

◇県庁・教育委員会支部

支 部 長

若月 雅博
菅野 亮一

◇ニューヨーク支部

*Director & Gen.Manager:EBE TAKASHI(1959 Grad)
AD:525 RIVERDALE AVE(Rm5G)YONKERS N.Y
10705 U.S.A
Phone:1-914-963-1250(Answering24h working)
(FAX:also available)

◎校内同窓会役員

理 事
幹 事

海和 雅人 原田 知明
稲村 邦彦 猪俣 幸一 船山 洋子

新学科「探究科（国際探究科・理数探究科）」の設置について

教務課 石黒 吉寛

本校に対し同窓生の皆さまより、日々さまざまな御支援をいただき感謝申し上げます。

今回は、平成三〇年度より新たに設置される「探究科」について御紹介します。現在本校は、一つの学年が理数科一クラスと普通科四クラスの計五クラスからなりますが、来年度より新しい学科として「探究科」が設置され、一学年五クラスが探究科二クラスと普通科三クラスからなる編成に変更されます。歴史を振り返りますと、昭和四三年度（一九六八年度）に理数科（定員四五名）が設置され、その後平成二〇年度（二〇〇八年度）に一学年五クラス・定員二〇〇名となりました。「探究科」の設置はそれに続いて行われる画期的なこととなります。

「探究科」は、本校を含

め山形東高校と酒田東高校の計三校に同時に設置されます。一次は「探究科」二クラスが共通の内容を学び、二次に進級する際に、文系への進学を目指す「国際探究科」と理系への進学を目指す「理数探究科」に分かれます。本校は国際探究科において、国際的視野を持ち交渉力・マネジメント能力を備えた人材の育成を目標とします。そのために、現在の理数科が実施している台湾研修に続いて、海外研修の体制を整備する予定です。理数探究科では、国際的視野を持ち創造力・表現力を備えた人材を育成します。現在の理数科は、新たにこの「理数探究科」に位置付けられることとなります。

さて、「探究科」に

おける大きな特色は、各教科で学んだ知識や技能を活用し、自ら見つけた課題の解決に向けて主体的に取り組む探究型学習に重点を置くこととなります。本校は、この探究型学習の実施について既に先行しており、平成二四年度（二〇一二年度）から平成二八年度（二〇一六年度）までの期間に、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールに指定され、理数科を中

心にそれらに取り組み、成果を挙げてきました。さらに今年度からは三期目の指定が実現し、普通科を含めた学校全体のものとして拡大していく予定です。また、本校では「探究科」設置に合わせ、従来の「興譲の精神」及び「目指す生徒像」に加え、これからの時代に必要な資質と能力について職員で検討し、「興譲館 doc (domain of competence: コンピテンスの領



域」を策定しました。（図参照）これから育てていく生徒の重要な基盤になるものです。これらをもとにした教育活動をととして、本校では次代を担う有為な人材を育成し個々の進学希望を実現する期待に応えることで、学校の責務を果たしていきたいと考えています。

最後になりましたが、同窓会の益々の御発展を祈念申し上げます。今後とも本校の教育活動について御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

